

こだわりと想像力から 映画は生まれる

出席者 橋口亮輔（映画監督）
 山上徹二郎（映画プロデューサー）
 リリー・フランキー（出演・カナオ役）
 染谷 栄（法廷画家）
 寺田 農（司会・東海大学文学部文芸創作学科特任教授）



映画『ぐるりのこと。』をめぐって

第九回目を迎えた東海大学湘南フィルムフェスティバルが二〇〇九年十二月五日に開かれた。法廷画家に転職した夫と妻の日常を描いた『ぐるりのこと。』を上映した今回、橋口亮輔監督らを招いて開催された公開座談会の模様を再現する。

積み重ねたリハーサル

寺田 大変お待たせいたしました。これよりトークショーを始めようと思います。初めに緊急の連絡がありまして、橋口監督は現在小田原で、これからこちらに向かうとのことですので。

リリー 何事があったんですかね。

寺田 いま小田原じゃ、間に合わないよね。まあ、もし間に合うとうれしいですね。実は私は壇上のお三方と、それから橋口監督にも、今日のご出演を願えないかと手紙を差し上げたんですが、監督は大変シャイな方で、私生活がまったく謎に包まれている。手紙も届いているんだかないんだかで、ウンともスンとも返

事がなく、今日まで来ていたんです。そしたらいま、急に「小田原にいる」という。これは謎ですよ。では、皆さんにいろいろお伺いしていきます。私も今日、試写以来作品を久々に拝見したのですが、そもそも橋口監督と山上さんはどんなきっかけから、こういう作品を撮ろうと思ったんですか？

山上 橋口監督とは、前作の『ハッシュュー！』でも一緒に撮らせていただいたんですが、監督との出会いはさらに六年ぐらいたったばかりです。一九九六年に撮られた『渚のシンドバッド』という、素晴らしい作品を拝見しておりました。この作品はヨーロッパのいくつかの

東海大学文学部「知のコスモス」第212回
第9回 東海大学湘南フィルムフェスティバル

「ぐるりのこと。」
 上映作品
 上映：2009年12月5日（土）15:30～18:00
 料金：1200円 前売：1500円
 会場：東海大学湘南校舎 松野記念館
 上映：2009年12月5日（土）15:30～18:00
 料金：1200円 前売：1500円
 会場：東海大学湘南校舎 松野記念館

東海大学湘南フィルムフェスティバルは、大学生が企画・運営する映画上映イベント。

映画祭で賞も獲っていたので、すでに次回作の予定もあるのだろうと思っていたわけですが、監督にお会いするとまだ次は決まっていなくていいんです。そこでお声がけをさせていただいて、六年かかってできたのが『ハッシュュー！』でした。

公開のときにはリリー・フランキーさんに、トークショーのゲストとして来ていただきました。橋口監督とは同世代ということもあってか、普段から監督はリリーさんのことをよく見ておられて、いつか一緒に仕事をしたいという気持ちが当時からあったと思います。寺田 するとリリーさん、『ハッシュュー！』のときに橋口監督とひとつのきっかけがあったわけですが、監督がリリーさんを役者として考えているということは、いつごろお聞きになったんですか？

リリー 撮影に入る一年ぐらい前ですかね。ただ、僕は橋口さんの作品のファンで、『ハッシュュー！』のところにご本人と知り合ってから、橋口さんという人物のファンにもなっていましたから、本当にいいのかと『ハッシュュー！』があれだけ海外で賞を獲って、監督の評価も高くなっているときに、僕を主役にして男女の恋愛の映画を撮りたいなんて、この人はおかしくなっ